

『Smart Life Projectへの参画』

リハビリテーション部次長 知野見 友弘

当法人は、職員一人ひとりが健康的になり、活気が溢れ働きやすい職場環境を作ることを中心に、昨年度より職員向けの健康増進事業を開始しました。

その一環として、厚生労働省の委託事業であるSmart Life Projectに参画し、職員に対する健康への意識付けや、運動習慣を持ってもらえるよう取り組みを行っています。

Smart Life Projectとは「健康寿命をのぼそう」をスローガンに全ての日本人が人生の最後まで元気で健康に楽しく毎日が送れることを目標に、運動、食事、禁煙の3分野について具体的なアクションの呼びかけを目的とした活動です。

近年健康への関心は非常に高まっており、様々な企業でも産業保健分野での取り組みが行われるようになりました。Smart Life Projectでは現在約2000もの企業が参画しており、参画企業は医療・介護・福祉関連の企業だけでなく多分野に渡っています。

当法人の具体的な取り組みとして、H25年8月から月1回、新しい運動メソッドを開発された“株式会社ロコムーブ”に協力していただき、実地指導と横浜-岡山間のライブ中継指導を実施しています。その他にも全体朝礼や院内勉強会の時に運動する機会を設けたり、就業後のメディカルフィットネスを開放し、運動指導員、理学療法士の指導の下、運動が行えるような機会を設けています。

これらの活動については、Smart Life Projectのホームページへ定期的に活動報告としてアップしています。

普段運動をされていない方が、運動習慣をつけることは非常に難しいですが、健康を提供する職種として健康に対する意識を持つことは非常に意義のあることだと考えています。

職員がしっかりと健康について関心を持ち理解することで、最終的には地域の皆様方の健康寿命の延伸にも繋げられるのではないかと考えています。様々な部分で還元できるよう、今後も取り組みを継続してゆきます。

Smart Life Projectホームページ：<http://www.smartlife.go.jp/about/3action/>



全体朝礼



ロコムーブ実施指導・遠隔指導



SUP
(フィットネス夜間開放、ヘルスマネジメント同好会)

自由会の訪問診療について

事務部長 有森 真希

平成26年4月の診療報酬改定および消費税率変更に伴い医療費の自己負担金などに大幅な変更がありました。患者さん、ご家族にはご心配をお掛けし申し訳御座いません。特に施設や集合住宅（同一建物）においては診療体系が大幅に変更され医療機関ごとの対応次第で医療費が大幅に変わる仕組みとなりました。

当院では、社会保障制度改革国民会議報告書にありましたように、患者さんが自宅だけではなく、高齢者住宅に居ても、グループホームや介護施設その他**どこに暮らしていても**必要な医療が確実に提供されるように努め、現在の診療体制を維持し在宅・施設等の訪問診療を継続してまいりますのでどうぞご安心ください。また、診療や医療費等のお問い合わせはお気軽にご連絡を頂ければと思います。

今回は訪問診療をおこなう上でどのように**職員間の連携**を取っているのかをご紹介します。特に重要な患者さんに関する情報共有ですが、毎朝30～50分程度、病院・クリニック・訪問看護ステーションの医師・看護師・事務員、相談員でミーティングをおこなっています。施設間は距離があるため画像のようにWeb会議システムも利用しています。効率よく必要な情報を共有するため「**申し送り掲示板**」という申し送り共有システム（医療法人ゆうの森様にご紹介頂きました）に、夜間・休日の状況、訪問診療の申し送り、新規の患者さん情報や看取りなど予め伝えたい内容を書き込みしておきます。それを全員で確認しながらミーティングを進め必要な情報を共有して診療に役立てています。



ミーティング以外にも夜間・休日の緊急出動やお問い合わせ時も迅速に対応できるよう、上記システムや電子カルテをiPad、スマートフォンでリアルタイムに確認できるようにしております。例えば職員がどこにいても患者さんのこれまでの経緯が瞬時に把握できます。



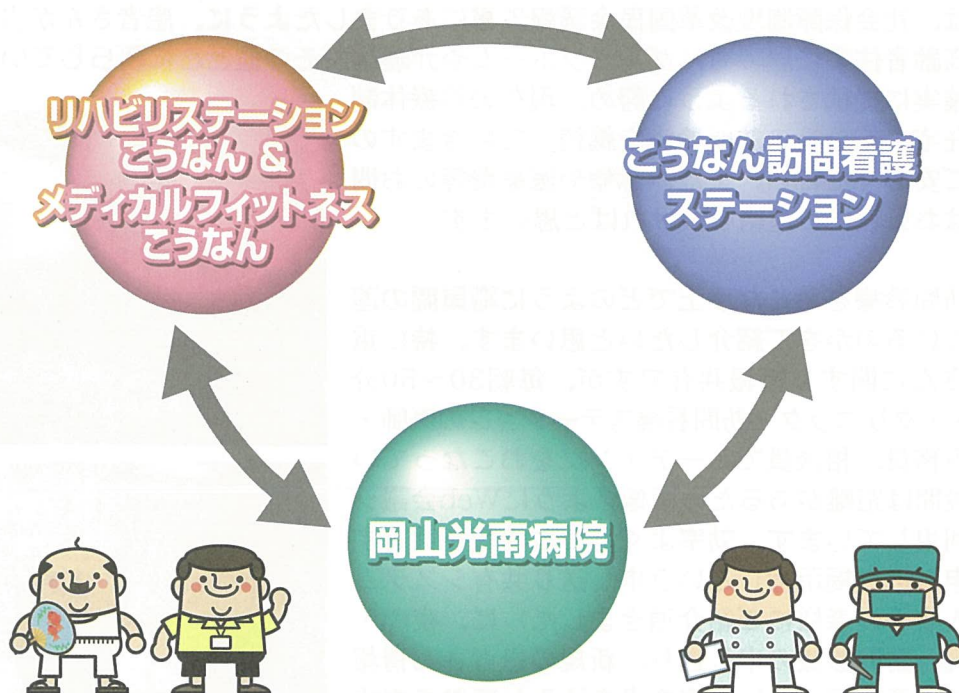
今回は院内の連携について少しお伝えしましたが、院外の地域医療機関、調剤薬局、福祉施設、行政、地域の方々等とも情報共有が可能な体制作りにも努めています。

最後に平成26年度の診療報酬改定を受け混乱もありましたが、これを機会にもう一度**初心**に戻り、**全力**で患者さんをサポートし地域に必要とされる在宅医療施設を目指して職員一同、**創意工夫**して頑張りたいと思いますので今後もよろしくご願ひ致します。



シームレスな リハビリテーションを目指して

岡山光南病院 リハビリテーション部 理学療法士 池田 ひかり



自由会では患者様の入院から退院、退院後の生活までをチームまたは、連携施設と協力しフォローアップしています。岡山光南病院では、患者様1人1人に対して多職種（医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護士・医療相談員・管理栄養士・薬剤師）が一丸となって退院に向けて関わっていきます。引き続きリハビリテーション（以下リハビリ）が必要な方は医療保険または介護保険、実費によるリハビリを行います。

こうなん訪問看護ステーション（医療保険もしくは介護保険を利用した訪問リハビリ）では、引き続きリハビリが必要であっても様々な理由で通院が困難な方に、理学療法士もしくは作業療法士、言語聴覚士が訪問し、ご自宅の環境に応じたリハビリを行っていきます。

リハビリステーションこうなん（介護保険を利用した通所リハビリ）では、短時間集中型のリハビリを行い、理学療法士を始め、専門スタッフが個別にサポートしています。

メディカルフィットネスこうなん（実費）では、医師の指導に基づき健康維持、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームの予防が行えます。

法人内で退院後の身体状態、生活状態の把握や情報交換が円滑にでき、多方面からより良いリハビリを提供していけたらと思います。

平成25年度 自由会 職員総会

平成26年6月22日岡山市ウェルポートなださきにて『平成25年度 特定医療法人 自由会 職員総会』が行われました。

職員総会は毎年行われており、昨年の反省と今年の目標を改めて確認しております。

平成25年度の会計報告、事業報告、基調講演、10年20年勤続者表彰、新人紹介、ありがとう賞表彰など充実した内容でした。

今回の基調講演はロコムーブの高山様より『30代での起業』をテーマに講演をして頂き、起業までの道のりや、迷いや気づきなど御苦労されたお話しをして頂きました。社会の為に自分が出来る事は何か？を考えさせられ、とても感慨深い内容でした。

又ワールドカフェを開催し『ストレス』の演目で話し合いがなされ、各個人が自由な発想で会話をし、貴重な意見が出され今後役に立つものとなり閉会となりました。



第16回 日本医療マネジメント学会学術総会に参加して

平成26年6月13日・14日、岡山ホテルグランヴィア・岡山ママカリフォーラムなどの会場で学術総会がありました。テーマは「楽しく働くために～医療の進むべき姿を求めて～」です。本学会で情報発信されている、クリティカルパス、医療安全、医療連携をはじめ、職員教育、医療経営など幅広く討論の課題としています。今回は全国大会のため、約4000名の方の参加がありました。その中で、知野見リハビリ次長と廣金看護部長が発表をしました。

知野見リハビリ次長の演題は「職員向け健康増進事業の取り組み」職員へのアンケート調査から必要性を考え健康増進事業を開始。各個人に明確な動機付けを行い継続してできる運動システムを作り、継続することで充実した生活やより良い医療の提供に繋げられるようにサポートをしていく。廣金看護部長の演題は「笑顔のバトンリレー～職員満足から顧客満足～」これは、ほほえみプロジェクト立ち上げから今日までの取り組み成果を発表。意識的に行わないと漠然とした環境になってしまうため、より効果的なツールやイベントを開発して当院のブランドづくりに貢献していき今後も継続しく。という内容でした。



熱中症予防『上手に水分補給の仕方のコツ』 をご紹介しますと思います。

外来看護師 山谷 佳江



どうやって飲むのがベスト?

一度にがぶ飲みしてしまうのは意味がなく、1回に200ml程度を数回に分けて摂取します。

1日のサイクルとしては、朝目覚めた時、午前10時、午後3時のおやつの時、入浴前後、寝る前などにコップ1杯ずつのお水を摂取。それ以外に1日3回の食事の時にも1杯ずつ飲めば、1日1600ml程度の水分が補給出来ます。

ここ最近、飲み物の生産量で伸びてきているのが『茶系』です。ウーロン茶や緑茶に加えてブレンド茶の生産量が増えて来ています。お茶にはカテキンが含まれており動脈硬化や美白効果、うがいなどの殺菌効果などもあります。スポーツ飲料も沢山汗をかいた後はお勧めです。

こまめに水分摂取を行い熱中症予防に心掛けましょう。



お知らせ

平成26年7月1日より 午後の外来診察を中止させていただきます。

中止後の時間は、地域への在宅訪問診療に充てさせていただきます。地域の皆様が安心してご自宅で過ごせる環境を作る為に、今後も尽力していく所存です。ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご容赦頂きますよう宜しくお願い致します。

*** 休診日は日祝日のみとなり、木曜日に内科外来を行います。**

診察表	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	内科 ○	○	○	○	○	○
	整形外科 ○	○	○	×	○	○
午後	訪問診療					

岡山光南病院
院長 宮森 政志



外来診察担当医表

お知らせ：平成26年7月から担当医・受付時間変更があります。

	月	火	水	木	金	土
内科(予約)	9:00~12:00 三好	土手			麻植	
内科	9:00~12:00	中村	中村	中村		担当医
整形外科	9:00~12:00 鈴木	鈴木	鈴木		鈴木	鈴木
内視鏡(胃・予約)	9:00~12:00			担当医		
摂食・嚥下(予約)	14:30~15:00			担当医		担当医

午後は訪問診療・予約検査のみとなります。

* 受付時間 午前：8:30~11:30
* 診察時間 午前：9:00~12:00

休診日 日曜・祝日

※外来診察表は、都合により変更することがあります。お電話でお確かめ下さい。



基本理念

すべての患者さんが身体的、社会的状況に応じた最適な医療が受けられる病院および診療所を目指します。

理念に基づく方針

- ① 私達は地域医療機関や保健福祉施設と密接な連携をとり、きめ細かな心配りのある医療を目指します。
- ② 私達は患者さんに対して十分な説明をおこない患者さんの選択に基づいた開かれた医療をおこないます。
- ③ 私達は患者さんの権利の尊重とプライバシーの保護をおこないます。
- ④ 私達は患者さんに満足いただける医療およびリハビリテーションを目指します。
- ⑤ 私達は人の和を大切にチーム医療を進めます。